

「中国地方国際物流戦略チーム」の設置について（案）

平成18年8月2日

中国を始めとするアジア地域は、我が国産業の生産拠点・消費市場として急成長しており、また我が国企業のアジア進出もめざましい状況にあるが、こうした経済活動を支える国際物流と国内の陸・海・空の各輸送モードが有機的に結びついた迅速かつ低廉でシームレスな物流ネットワークの構築が重要な課題となっている。

今後、我が国の国際競争力の維持・強化と多様なニーズに対応した豊かな国民生活の実現と活力ある日本を築いていくためには、国際物流施策を総合的・一体的・戦略的に推進していく必要がある。

このようなことから平成17年2月には、国土交通省に事務次官を本部長とする「国際物流施策推進本部」が設置されており、平成17年11月に改定された総合物流施策大綱（2005－2009）では、主要港湾・空港を抱える地域においては国際物流及びこれと一体を成す国内物流の効率化方策を検討する「国際物流戦略チーム」を設置し、地域の実情を踏まえた施策の推進を図ることとされた。

中国地方の港湾・空港は、東アジア諸国に近い地理的特性を活かした国際輸送の拠点としての役割を、また集積する重化学工業等の原材料や製品の輸送の拠点として産業活動を支える機能を担っており、今後予想される対東アジア貿易の活発化や近年の外貿コンテナ貨物取扱量の順調な伸び等に鑑みても、地域経済における港湾・空港を中心とした国際物流の重要性は一層高まりつつある。

このような経緯を踏まえ、中国地方において、地域を発展させる国際物流のあり方を戦略的に検討し、具体的な展開を図るため、新たに「中国地方国際物流戦略チーム」を設置するものである。